

14 開発による自然環境の変貌 へんぼう



私たち人間は、様々な形で自然を開発しています。沖縄の貴重な自然が失われることは問題ですが、開発も、その多くは人間生活上の理由があって行われているものです。では、私たち人間はどうすれば良いのでしょうか？

「開発による自然環境の変貌（自然史 3-1）」パネルを読んで、沖縄で在来生物の生息環境を悪化させている人間の行為について調べ、表を完成させましょう。

| 名 称 | 説明の要約 | 行為の必要性 | 今後人間のすべきこと |
|---------|--|--------|------------|
| 干潟の埋め立て | <small>ひがた</small> 干潟は、海と陸の間であつて、互いの影響を（ ）している。干潟を埋め立てると、そこに住む多くの生き物を失い、（ ）の間に大きな壁ができる。 | | |
| | <small>きしょう らんかく</small> 希少な動植物を乱獲し、「品」として販売することは問題である。このようなものを（ ）しないことも大切である。 | | |
| | ダム、（ ）、橋、護岸等人工構造物は、（ ）の発生等、生き物の生活に様々な被害をもたらしている。 | | |
| | 沖縄の川から海へは赤土が流入し、漁業や（ ）に悪影響を与えている。 | | |